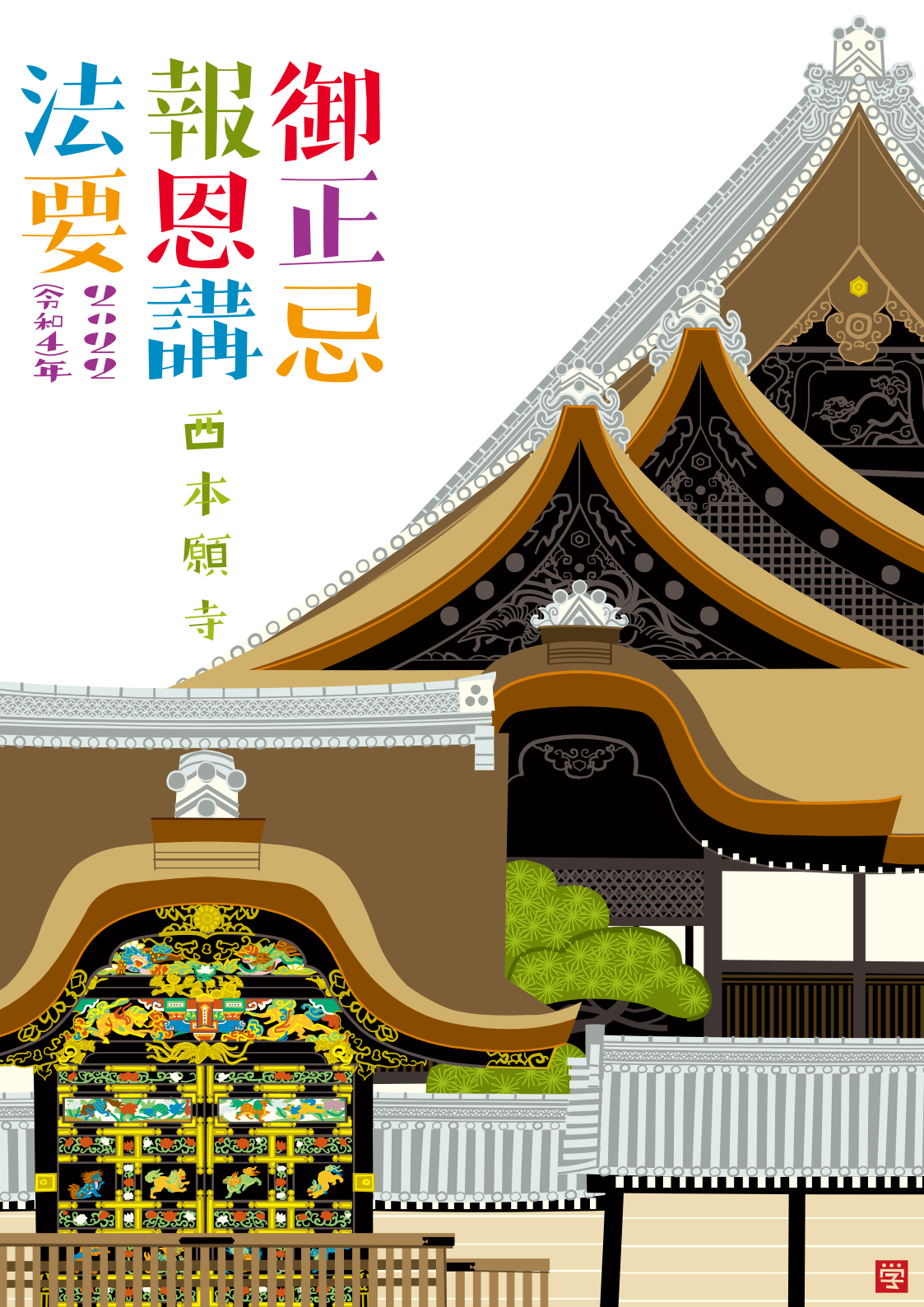


令和4年 2022

西本願寺



本願寺 全体図



※P.13・14に法要・行事等の詳細を記した境内案内図を掲載しておりますので、そちらも併せてご参照ください。

恩徳讃

如来大悲の恩徳は

身を粉にしても報ずべし

師主知識の恩徳も

ほねをくだきても謝すべし

目次

恩徳讃	1
ご挨拶 〈浄土真宗本願寺派総長 石上 智康〉 〈本願寺執行長 武田 昭英〉	3
「浄土真宗のみ教え」／「私たちのちかい」	5
浄土真宗の教章（私の歩む道）	6
親鸞聖人御誕生八百五十年についての消息	7
立教開宗 八百年についての消息	9
本願寺本堂内陣修復完成のついでについて	11
御正忌報恩講法要 全日程表	13
御正忌報恩講法要 境内案内図	15
法要日程（9日～16日）	16
お 斎	20
御法楽献詠入選歌	24
通夜布教（15日）	25
慶讃法要記念愛唱歌「みんな花になれ」	26
御正忌報恩講「法要期間中の関連行事」	32
親鸞聖人のご生涯（御絵伝解説）	41
帰敬式	42
免 物〈携行本尊〉	43
本願寺よりのご案内	45
〈はとけさまのお話〈常例布教〉〈お西さんの法話〉	46
〈お西さんの土曜法話〈法義示談〉／お西さんを知ろう！	47
大谷本廟（京阪バス時刻表）	48
日野誕生院／角坊	49
2022（令和4）年 本願寺の法要行事日程	50
領解文／報恩講の歌	50
阿弥陀堂内一部閉鎖／御影堂の荘厳について／国宝修復情報	50
御正忌報恩講法要期間中の仏華	50

2022（令和4）年 御正忌 報恩講 法要

報恩講は、親鸞聖人のご遺徳を偲び、そのご苦労を通じて、阿弥陀如来のご本願によるお救いをあらためて心に深く味わわせていただく法要です。

親鸞聖人の三十三回忌のご法要にあたり、本願寺第三代覚如上人がそのご遺徳を讃仰するため『報恩講私記』をご制作になられ、以来、聖人のご命日の法要は報恩講として、大切にお勤めされてきました。

本願寺第八代蓮如上人がお示しのとおり、正しくお念仏のいわれを聞かせていただき、身にいただくことが聖人の御恩に報いる道です。

報恩講は、一月九日から十六日までお勤めいたしております。お念仏の道をお示しいただいた親鸞聖人のご遺徳を偲ばせていただき、お念仏に遇えた喜びをこの身に受け、共々にお念仏申しましょう。

御正忌報恩講法要をお迎えして

浄土真宗本願寺派総長

石上 智康

本願寺執行長

武田 昭英

皆さまには、厳しい寒さのなか、ようこそご参拝くださいました。

「御正忌報恩講法要」は浄土真宗のみ教えをいただく私たち念仏者にとって、最も大切なご法要です。ご法要をご縁に改めて宗祖親鸞聖人のご遺徳をしのび、浄土真宗のお救いに遇わ^あせていただいているご恩に感謝する生活を送らせていただきましょう。

昨年十一月二十三日、全国門徒総追悼法要（秋の法要）に引き続き発布されたご消息^{しやうそく}においてご門主様は、親鸞聖人の生き方に学び、次の世代の方々にご法義がわかりやすく伝わるよう、その肝要としてお

示しになられた「浄土真宗のみ教え」（5頁掲載）にふれられた上で、「これからもみ教えに導かれ、我執我欲に迷うわが身を省みるとともに、お慈悲によるこの愚身^みこのままの救いに感謝し、格差や分断が指摘される今日の社会の中にあつて、互いに敬い助け合ってお念仏の朋^{とも}の輪を広げてまいりましょう」とご教示になりました。

ご消息のお心を、重く受けとめさせていただきます。

仏法に導かれ、阿弥陀如来のお慈悲ひとすじにこの身をおまかせし、安心をいただくとともに、「浄土真宗のみ教え」を共に唱和し、日々精一杯つとめ、み教えが広く伝わるようお念仏申す人生を歩ませてくださいましょう。

合掌

浄土真宗のみ教え

南無阿弥陀仏

「われにまかせよ そのまま救う」の 弥陀のよび声
私の煩惱と仏のさとりは 本来一つゆえ
「そのまま救う」が 弥陀のよび声

ありがとう といただいて

この愚身をまかす このままで

救い取られる 自然の浄土

仏恩報謝の お念仏

み教えを依りどころに生きる者 となり

少しずつ 執われの心を 離れます

生かされていることに 感謝して

むさぼり いかりに 流されず

穏やかな顔と 優しい言葉

喜びも 悲しみも 分かち合い

日々に 精一杯 つとめます

私たちのちかい

一、自分の殻に閉じこもることなく

穏やかな顔と優しい言葉を大切にします
微笑み語りかける仏さまのように

一、むさぼり、いかり、おろかさに流されず

しなやかな心と振る舞いを心がけます
心安らかな仏さまのように

一、自分だけを大事にすることなく

人と喜びや悲しみを分かち合います
慈悲に満ちみちた仏さまのように

一、生かされていることに気づき

日々に精一杯つとめます
人びとの救いに尽くす仏さまのように

浄土真宗の教章（私の歩む道）

宗名 浄土真宗
宗祖 親鸞聖人
（ご開山）

ご誕生 一七三三年五月二十一日
（承安三年四月二日）

ご往生 一二六二年一月十六日
（弘長二年十一月二十八日）

浄土真宗本願寺派

龍谷山 本願寺（西本願寺）

阿弥陀如来（南無阿弥陀仏）

・釈迦如来が説かれた「浄土三部経」

・『仏説無量寿経』

・『仏説観無量寿経』

・『仏説阿弥陀経』

・宗祖 親鸞聖人が著述された主な聖教

・『正信念仏偈』（『教行信証』行巻末の偈文）

・『浄土和讃』 『高僧和讃』 『正像末和讃』

・中興の祖 蓮如上人のお手紙

『御文章』

教義

阿弥陀如来の本願力によって信心を
めぐまれ、念仏を申す人生を歩み、この
世の縁が尽きるとき浄土に生まれて
仏となり、迷いの世に還って人々を教化
する。

生活

親鸞聖人の教えにみちびかれて、阿弥陀
如来の心を聞き、念仏を称えつつ、
つねにわが身をふりかえり、慚愧と
歡喜のうちに、現世祈禱などにたよる
ことなく、御恩報謝の生活を送る。

宗門

この宗門は、親鸞聖人の教えを仰ぎ、
念仏を申す人々の集う同朋教団で
あり、人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を
伝える教団である。それによって、自他
ともに心豊かに生きることのできる
社会の実現に貢献する。

親鸞聖人御誕生八百五十年についての消息 立教開宗八百周年

来る二〇二三年には、宗祖親鸞聖人のご誕生八百五十年、また、その翌年には立教開宗八百年にあたる記念すべき年をお迎えするにあたり、二〇二三年に慶讃法要をお勤めいたします。

親鸞聖人は承安三年・一一七三年にご誕生となり、御年九歳で出家得度され、比叡山で修行を重ねられましたが、二十九歳の折、山を下りて法然聖人の御弟子となられ、阿弥陀如来の本願念仏の世界に入られました。その後、専修念仏停止によって越後にご流罪になられ、赦免の後は関東に赴かれて他力念仏のみ教えを人々に伝えられるとともに、『教行信証』の執筆にとりかかられました。他力念仏のみ教えがまとめられた本書は、浄土真宗の根本聖典という意味でご本典と呼ばれています。そして、そのご本典の記述によって、その成立を親鸞聖人五十二歳の時、すなわち元仁元年・一二二四年とみて、この年を立教開宗の年と定めています。

仏教は今から約二千五百年前、釈尊が縁起や諸行無常・諸法無我というこの世界のありのままの真実をさとられたことに始まります。翻って私たちは、この執われのなにおさとの真実に気づくことができず、常に自分中心の心で物事を見て、悩み、悲しみ、あるいは他人と争ったりしています。釈尊は、このような私たちをそのままに

救い、おさとの真実へ導こうと願われたのが阿弥陀如来であることを教えてくださいました。そして、親鸞聖人は、この阿弥陀如来の願いが、南無阿弥陀仏のお念仏となつてはたらく続けてくださっていることを明らかにされたのです。

ありのままの真実に基づく阿弥陀如来のお慈悲でありますから、いのちあるものすべてに平等にそそがれ、自己中心的な考え方しかできない煩惱具足の私たちも決して見捨てられることはありません。その広大なお慈悲を思うとき、親鸞聖人が「恥づべし傷むべし」とおっしゃったように、阿弥陀如来のお心とあまりにもかけ離れた私たちの生活を深く慚愧せざるをえません。しかし、この慚愧の思いは、阿弥陀如来の悲しみを少しでも軽くすることができればという方向に私たちを動かすでしょう。

それは、阿弥陀如来の願いを一人でも多くの人に伝え、他人の喜び悲しみを自らの喜び悲しみとするような如来のお心になう生き方であり、また、世の安穩、仏法弘通を願われた親鸞聖人のお心に浴う生活です。み教えに生かされ、いよいよお念仏を喜び、すべてのいのちあるものが、お互いに心を通い合わせて生きていけるような社会の実現に向け、宗門総合振興計画の取り組みを進めながら、来るべき親鸞聖人ご誕生八百五十年ならびに立教開宗八百年の慶讃法要をともにお迎えいたしましょう。

平成三十一年 一月九日
二〇一九年

龍谷門主 釋 専 如

本願寺本堂内陣修復完成についての消息

宗祖親鸞聖人が阿弥陀如来のご本願の救いを明らかにされ、浄土真宗を開かれてからすでに八百年近くになりました。この間、聖人のみ教えを仰ぎ、お念仏を喜ぶ根本道場として本願寺は建立され、世界各地の僧侶・寺族・門信徒の方々によって今日まで護持されてきました。

現在の本願寺本堂（阿弥陀堂）は、宝暦十年・一七六〇年の再建から二百年余りを経て屋根全般が老朽化したことに伴い、昭和五十四年・一九七九年から五年半の歳月を要して、屋根瓦の全面葺替えとそれに伴う修復や防災設備を施す工事を行いました。そして、このたびは平成二十九年・二〇一七年八月から内陣、余間および三之間の漆塗、金箔、彩色、金具、巻障子、天井画、障壁等の修理、また宮殿の修復を行い、来年三月にすべての工事を完了することになりました。

これによって私たちは、先人の方々によって建立され伝持されてきた聞法の道場を、また文化財としての貴重な建造物を後世に遺すことができることになりました。このような大事業が完遂できますことは、ひとえに仏祖ご照覧のもと、有縁の皆様のご懇念やご協賛、また重要文化財への公的資金の補助によるものであり、まことに有り難く尊いことです。

省みれば、私たちはものごとを正しく見ることができず自己中心の心に執われて、無常・無我・縁起といった釈尊の教えに背き続ける苦悩の日々を送っています。阿弥陀如来のお慈悲は、そのような私たちを慈しみ、深く悲しんでおられます。如来のおさとの真実に包まれ、智慧の光に照らし出された私たちは、自身が凡愚の身であるとは知らされ、お慈悲に救われる喜びと仏恩報謝の思いから、少しでも執われの心を離れなければならぬと気づかされ、阿弥陀如来の悲しみを深めないように生きていくのです。これこそが念仏者の生き方といえましょう。

この生き方に学び、次の世代の方々にご法義がわかりやすく伝わるよう本年四月の立教開宗記念法要において、その肝要を「浄土真宗のみ教え」として述べさせていただきました。来年四月には、阿弥陀堂内陣修復完成奉告法要および慶讃法要がお勤めされます。これからみ教えに導かれ、我執我欲に迷うわが身を省みるとともに、お慈悲によるこの愚身みこのままの救いに感謝し、格差や分断が指摘される今日の社会の中にあって、互いに敬い助け合ってお念仏の朋ともの輪を広げてまいりましょう。

令和三年 十一月二十三日
二〇二一年

龍谷門主 釋 專 如

5:00	5:00	5:00	5:00	5:00	5:00	5:00	5:30	開門				
17:00	19:30	17:00	17:30	17:00	17:00	17:00	17:00	閉門				
16日(日)	15日(土)	14日(金)	13日(木)	12日(水)	11日(火)	10日(月・祝)	9日(日)	場所	行事	時間	法要	
大経(讃佛偈) 正信偈 (真譜)	大経(讃佛偈) 般舟讃	大経(讃佛偈) 般舟讃	大経(讃佛偈) 般舟讃	大経(讃佛偈) 般舟讃	大経(讃佛偈) 般舟讃	大経(讃佛偈) 般舟讃		御影堂	勤行	6:00～	晨朝	
	○	○	○	○	○	○			歸敬式	晨朝後		
	花岡 静人 師	花岡 静人 師	花岡 静人 師	星野 慎行 師	星野 慎行 師	星野 慎行 師		総会所	常例布教	8:10～ 20分間		
花岡 静人 師	花岡 静人 師	花岡 静人 師	花岡 静人 師	星野 慎行 師	星野 慎行 師	星野 慎行 師		御影堂	御堂布教	9:30頃～ 15分間		
報恩講作法 (御満座)	五会念佛作法	正信念佛偈作法 第三種	二門偈作法	奉讃大師作法	宗祖讃仰作法	二門偈作法		御影堂	法要	10:00～	日中	
	清岡 隆文 師	葛野 洋明 師	野村 康治 師	大竹 真章 師	普賢 保之 師			総会所	特別講演	11:10～ 40分間		
★C												
			鶯地 清登 師	藤澤 彰祐 師	宰務 清子 師	杉本 光仁 師		総会所	御経伝解説	12:10～ 40分間		
○	○	○	○	○	○			湧書院	お斎	1回目12:00～ 2回目13:00～		
○	○	○	○	○	○	○			歸敬式	13:00～		
※16日は 13:30～	○	○	○	○	○	○	○	御影堂	御堂布教	13:30頃～ 15分間		
	花岡 静人 師 ※手話通訳有	花岡 静人 師	花岡 静人 師	花岡 静人 師	星野 慎行 師	星野 慎行 師	星野 慎行 師		法要	14:00～	連夜	
	広文類作法	大師影供作法	宗祖讃仰作法 (音楽法要)	浄土法事讃作法	正信念佛偈作法 第三種	奉讃大師作法	大師影供作法			連夜法要に 引き続き		
ご門主様ご親教 ※手話通訳有	御俗姓拝読											
★D												
正信偈(斎) 改悔批判 正信偈(非時)	正信偈(斎) 改悔批判 正信偈(非時)	正信偈(斎) 御伝記拝読 正信偈(非時)	正信偈(斎) 改悔批判 正信偈(非時)	正信偈(斎) 改悔批判 正信偈(非時)	正信偈(斎) 改悔批判 正信偈(非時)	正信偈(斎) 改悔批判 正信偈(非時)	改悔批判	御影堂	勤行	15:30～ ※15日のみ 18:00～	初夜	
重誓偈 正信偈	重誓偈 正信偈	重誓偈 正信偈	重誓偈 正信偈	重誓偈 正信偈	重誓偈 正信偈	重誓偈 正信偈	重誓偈 正信偈		勤行	初夜終了後	日没	
通夜布教 P.24								聞法会館	通夜布教	18:40～ 21:50		

2022(令和4)年 御正忌報恩講法要 全日程表

9日 連夜法要～16日 日中法要

《関連行事》

- ★A…10日(月・祝) 13:15～
第65回 全国児童生徒作品展表彰式 【御影堂】
- ★B…12日(水) 13:15～
御法楽献詠入選者表彰式 【御影堂】
- ★C…15日(土) 11:50～
講社懇志進納講並びにご消息ご披露式 【御影堂】
- ★D…15日(土) 16:00～ ※事前収録配信 P.24
奉讃演奏会上映 【聞法会館 (3F 多目的ホール)】

《ご参拝について》

- ・本年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、御影堂内は参拝者数を制限した指定席(椅子席)となります。
- ・当日参拝希望の方は、御影堂前白洲受付テントにて先着順に受付いたしますが、臨時席(モニター中継を行う阿弥陀堂もしくは安穩殿2階)への案内となる場合がございます。
- ・参拝受付時の検温、連絡先登録およびマスク着用ならびに手指のアルコール消毒等、感染症予防対策にご協力ください。

法要行事の様子をインターネット中継いたします。
配信時間外は視聴いただけませんので、
視聴ページの中継日程をご確認ください。
視聴ページ→



2022 (令和4) 年

「御正忌報恩講法要」 境内案内図

(時間・内容等変更の場合もあります)



龍谷大学
大宮学舎
本館

●10~15日
お斎会場 (P.16)

2021年9月
修復完了
(P.49)

●受付 お斎 (P.16)
帰敬式 (P.41)
免物 (P.42)
懇志
永代経

●法要 晨朝 (6時)
日中 (10時)
速夜 (14時)
初夜 (15時30分※15日は18時)
●10日 全国児童生徒作品表彰式
●12日 御法楽献詠入選者表彰式
●15日 講社懇志進納講並びにご消息ご披露式
●15日 ご門主様ご親教 (速夜法要に引き続き)
●帰敬式 (P.41)

●御影堂荘厳具・
供物等の展示 (P.18)

●宗門社会活動展
●矯正展〈キャピック展〉
●被災地支援物産展

●全国児童生徒作品展

阿弥陀堂
内陣修復中 (P.49)
モニター中継
指定席 (椅子席)
80席

日中・速夜法要に
指定席 (椅子席) で
参拝希望の方は、必ず
ここで受付して下さい

●お西さんを知ろう! (P.44)
●「子どもたちの
笑顔のために募金」ブース
●ほっとはあとショップ

白洲受付
テント

★お茶所
(総合案内所)
W.C.

防災センター
(お忘れ物)

安穩殿
2Fモニター中継
指定席 (椅子席)
40席
W.C.
1Fブックセンター
9:00~17:00
(16日8:00~17:00)

- 📍 = AED (自動体外式除細動器) 設置場所
 - ♿ = 車椅子対応エレベーター
 - 🚻 = オストメイト対応トイレ (多目的トイレ)
 - 👶 = 授乳室
 - 🍴 = 喫茶・食事処
 - ★ = スタンプ
 - 📶 = Wi-Fi電波受信建物
SSID: Wi2_free
 - 🚬 = 喫煙所 (北境内地に1ヵ所)
- ※1 紫雲 — 10:00~15:00
※2 法輪*3 — 8:45~17:00
※4 がんこ 西本願寺別邸
7:00~9:00
11:00~14:00
17:30~21:00

シリーズ展11

仏教の思想と文化—インドから日本へ—
特集展示: 仏像ひな型の世界III
10:00~17:00
※最終入館受付は16:30まで

龍谷ミュージアム

時刻表 (P.45)

伝道第三本部

御正忌報恩講法要(日程)

9日

日

開門 5:30 閉門 17:00

帰敬式(御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

13時30分頃 御堂布教

御影堂

14時00分 速夜法要 大師影供作法

御影堂

15時30分 初夜[改悔批判]

御影堂

常例布教

総会所

8時10分 20分間 ※10〜15日

御堂布教

(日中法要前) 9時30分頃
(速夜法要前) 13時30分頃

15分間

よきひとの仰せ

星野 慎行 師
大阪教区 豊島南組 西法寺

願い

花岡 静人 師
奈良教区 吉野東組 勝光寺

※16日午後より通常通り

P.43

経文については、別冊の『御正忌報恩講法要』をご参照ください。また、(約〇分)は目安としてご参考ください。

改悔批判

※13日は御伝記拝読のためおこないません。

改悔批判とは、ご門主様が信心(安心)の正否を批判(判断)する儀式です。

本願寺第八代蓮如上人のころ、報恩講中の毎夜、篤信の僧侶・門徒が各自の信仰を告白し、批判を仰いだことにはじまるものです。

現在は、9日は初夜に、10、11、12、14、15日は初夜のお勤めに引き続き、改悔批判をおこなっております。

今年の与奪者は武田宏道勧学です。

※しおりにつきましては、関連行事 内容変更・中止前のものとなっております

要申込

お斎

とき 1月10日(月・祝)〜15日(土)

【1回目】12時〜
【2回目】13時〜

※定員(各回64名)
※10日は13時〜のみ

ところ 書院(鴻之間)

全席椅子席



・お一人様につき一万円以上のご懇志に対するお扱いとなります。

仏教では、午前十時から正午までの間に食事をする習わしがあり、このときの料理を『斎』といいます。本願寺では、毎年一月十日から十五日まで、日中法要後にお斎の接待を国宝の書院(鴻之間)にておこなっております。

本年は、机一台に一名の配席(例年の約半数)として十分な間隔を開け、長年受け継がれてきた「五菜」を盛り込んだ松花堂弁当と温かいお汁、ほうじ茶、みかん、お菓子(軟掛饅頭)をご用意いたします。なお、酒・赤飯はお土産としてお持ち帰りください。

お申込みについては、参拝教化部までおたずねください。

担当部 参拝教化部(龍虎殿1階) ※以下ページ担当部は で表記

10日
月祝

開門 5:00 閉門 17:00

帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分	晨朝	御影堂
8時10分	常例布教	総会所
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分	日中法要 二門偈作法	御影堂
(約45分)		
12時10分	御絵伝解説〈第一幅〉	総会所
(約40分)		
13時15分	第65回 全国児童生徒作品展 表彰式	御影堂
13時30分頃	御堂布教	御影堂
14時00分	逮夜法要 奉讃大師作法	御影堂
(約50分)		
15時30分	初夜〔正信偈 引き続き 改悔批判〕	御影堂
(約60分)		

と き ● 1月10日(月・祝)～13日(木)
12時10分～12時50分

ところ ● 聞法会館1階 総会所
※座席(椅子席)には限りがあります

講 師

- 〈第一幅〉 10日(月・祝) すぎもと ありひと (兵庫県)
- 〈第二幅〉 11日(火) さいむ きよこ (兵庫県)
- 〈第三幅〉 12日(水) ふじさわ しょうゆう (滋賀県)
- 〈第四幅〉 13日(木) おお ち きよと (大阪府)

※併せて32～40ページもご参照ください。

☆御絵伝解説
―御絵伝に見る親鸞聖人のご生涯―
総会所の大型スクリーンに映写した「御絵伝」を、布教研究専従職員が四日連続して場面ごとに解説いたします。
絵の中に描かれた宗祖親鸞聖人のご生涯を紐解いてゆく中に、ご遺徳を偲ばせていただきます。

※しおりにつきましては、関連行事 内容変更・中止前のものとなっております

11日
火

開門 5:00 閉門 17:00

帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分	晨朝	御影堂
8時10分	常例布教	総会所
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分	日中法要 宗祖讃仰作法	御影堂
(約40分)		
11時10分	特別講演	総会所
12時10分	御絵伝解説〈第二幅〉	総会所
(約40分)		
13時30分頃	御堂布教	御影堂
14時00分	逮夜法要 正信念佛偈作法 第三種	御影堂
(約45分)		
15時30分	初夜〔正信偈 引き続き 改悔批判〕	御影堂
(約60分)		

11:10～11:50
特別講演

智慧の念仏者



本願寺派勸学
普賢保之師

と き ● 前半：1月 9日(日)～12日(水)午前
後半： 12日(水)午後～17日(月)

ところ ● 両堂間渡廊下

前半

- ・蠟燭立〔親鸞聖人750回大遠忌法要で使用〕
- ・蠟 燭〔本山で使用の30・50・100・500匁〕
- ・戸 帳〔金地推古立湧唐織〕
〔12日午後から荘厳のもの〕

後半

- ・供 物〔9～12日中まで荘厳のもの〕
- ・打 敷〔朱紅色唐織錦地震牡丹舞蝶紋〕
〔9～12日中まで荘厳のもの〕

御影堂荘厳具・供物等の展示
御正忌報恩講法要期間中、阿弥陀堂・御影堂間渡廊下に大型ブースを二つ設け、実際に御影堂にて使用いたしております荘厳具・供物等を前後半に分けて展示いたします。貴重な機会ですので、ぜひご覧ください。

12日

水

※しおりにつきましては、関連行事 内容変更・中止前のものとなっております

11:10~11:50
特別講演

本願力に遇う



本願寺派布教使
大竹真章 師

開門 5:00 閉門 17:00

帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分	晨朝	御影堂
8時10分	常例布教	総会所
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分 (約50分)	日中法要 奉讃大師作法	御影堂
11時10分	特別講演	総会所
12時10分 (約40分)	御絵伝解説 (第三幅) P.37	総会所
★13時15分	御法楽献詠入選者表彰式	御影堂
13時30分頃	御堂布教	御影堂
14時00分 (約65分)	逮夜法要 浄土法事讃作法	御影堂
15時30分 (約60分)	初夜 [正信偈] 引き続き改悔批判	御影堂

★御法楽献詠

聞法の慶びを和歌に詠む御法楽献詠は、毎年兼題を定め、僧侶・寺族・門信徒の方がたから広く歌を募っております。

本年の兼題は「笑(えみ)」とし、全国より寄せられた百六十六首の中から次ページの五首が入選いたしました。

令和4年 御法楽献詠入選歌

兼題

笑

講評 宗派月刊誌「大乘」歌壇選者 喜多 弘樹

その浄き如来の笑みにこめられし
願ひの中に今日我は生く

三重県 伊藤順子

《評》きよらかな如来さまの笑みには、大悲のまこと
がこめられています。必ず救うという願いの中
で生かされているわたくしがいるのです。

ともに泣きともに笑ひてあるままの
心あずけし弥陀と歩まん

熊本県 星子正美

《評》泣き笑いは自分一人のものではなく、いつも
阿弥陀さまに寄り添われていると思う安ら
ぎ。自らの心のすべてを預けることをよしと
する作者。

おあさじの集う本堂弥陀の笑み
正信偈の声一つになりて

宮崎県 岩崎すみか

《評》お朝事に集う本堂の門信徒のみなさま、阿弥
陀さまが深い笑みをもつて迎えてくださいま
す。それに謝して正信偈をお唱えする声も清
浄に。

悲しめばともに如来も涙して
ほほえむ吾には笑みくれたまふ

熊本県 新道くみ子

《評》この人の世の悲しみに如来さまも涙してくださ
る。だから、わたしが微笑んだら、きつと微笑
み返してくれるはず。この信心のたまもの。

みほとけの円な笑みを思うなり
今宵仲秋名月の下

佐賀県 貞包雅文

《評》今宵は仲秋の名月。皓々と地上を照らす月の光
の美しさに、みほとけを思い、そのおらかな
慈悲心にみちた笑みを思う念仏者の姿。

13日

木

開門 5:00 閉門 17:30

帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分	晨朝	御影堂
8時10分	常例布教	総会所
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分 (約35分)	日中法要 二門偈作法	御影堂
11時10分	特別講演	総会所
☆12時10分 (約40分)	御絵伝解説 (第四幅) P.39	総会所
13時30分頃	御堂布教	御影堂
14時00分 (約40分)	逮夜法要 宗祖讃仰作法(音楽法要)	御影堂
15時30分 (約130分)	初夜〔正信偈 引き続き御伝記拝読〕	御影堂

親鸞さまのお見舞い



本願寺派布教使
野村康治 師

※しおりにつきましては、関連行事 内容変更・中止前のものとなっております

11:10~11:50
特別講演

14日

金

開門 5:00 閉門 17:00

帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分	晨朝	御影堂
8時10分	常例布教	総会所
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分 (約45分)	日中法要 正信念佛偈作法 第三種	御影堂
11時10分	特別講演	総会所
13時30分頃	御堂布教	御影堂
14時00分 (約65分)	逮夜法要 御俗姓拝読 大師影供作法	御影堂
15時30分 (約60分)	初夜〔正信偈 引き続き改悔批判〕	御影堂

報じても報ずべきは
大悲の仏恩



本願寺派布教使
葛野洋明 師

『御伝記(御伝鈔)』と『御絵伝』

本願寺第三代覚如上人は、親鸞聖人のご遺徳を讃仰するために、その生涯の行蹟を文章と絵で交互に描いた絵巻物をつくられました。『善信聖人親鸞伝絵』あるいは『本願寺聖人親鸞伝絵』などと呼ばれています。

後に多くのご門徒の方がたにご覧いただけるようにと、文章と絵は別々に分けられ、それぞれ『御伝鈔』『御絵伝』と呼ばれ、流布するようになりました。

阿弥陀堂内陣修復中の御正忌報恩講では、この「御絵伝」(四幅)を御影堂の南余間にお掛けし、一月十三日に『御伝記』を拝読して宗祖のご生涯を偲ばせていただきます。

※本山では『御伝記』、一般には『御伝鈔』と呼びます。

御俗姓

御俗姓は『俗姓の御文』とも呼ばれ、本願寺第八代蓮如上人が一四七七(文明九)年に親鸞聖人の御正忌報恩講に際してお書きになった御文章です。

前文では宗祖の俗姓を明かし、行蹟を述べられ、後文では報恩講における門徒の心得が説かれ、一念帰命の真実信心を勧められています。

※しおりにつきましては、関連行事 内容変更・中止前のものとなっております

6時00分	晨朝 しんじょう	御影堂
8時10分	常例布教	総会所
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分	日中法要 にっちゅうほう	御影堂
（約45分）	五会念佛作法 ごえねんぶつさほう	
11時10分	特別講演	総会所

★
講社懇志進納講並びに
ご消息ご披露式

本願寺に対し物心両面にわたりご尽力いただいている本願寺全国講社連絡会の各講社より、一年間に進納のあつた進納品並びに懇志進納額が読みあげられ、目録進呈後、一九六五（昭和四十）年に本願寺第二十三代勝如上人しょうじょうにょが發布された「講社への消息」が披露されます。

11:10~11:50
特別講演

報ほうずべし謝しゃすべし



本願寺派布教使
清岡隆文師

★11時50分	講社懇志進納講並びにご消息ご披露式	御影堂
13時30分頃	御堂布教	御影堂
★18時00分 (約60分)	手話通訳	御影堂
★18時40分	遠夜法要	御影堂
引き続き	広文類作法	御影堂
★16時00分 (約60分)	ご門主様ご親教	御影堂
奉讃演奏会	手話通訳	御影堂
上映		御影堂
P.24		御影堂
★18時00分 (約60分)	初夜〔正信偈〕	御影堂
引き続き	改悔批判	御影堂
通夜布教		御影堂
(22時閉場予定)		御影堂
P.24		御影堂
★18時40分	聞法会館	御影堂
★16時00分 (約60分)	聞法会館	御影堂
★18時00分 (約60分)	聞法会館	御影堂
★18時40分	聞法会館	御影堂

と き ● 1月15日(土) 11時50分

ところ ● 御影堂



講社ホームページを随時更新中
です。歴史や年間行事など幅広
く紹介しております。
<http://kousha.hongwanji.or.jp>



 参拝教化部

日

開門 5:00
閉門 17:00

6時00分	晨朝	※午前の帰敬式は行われません	御影堂
9時30分頃	御堂布教		御影堂
10時00分 (約95分)	日中法要	報恩講作法	御影堂
13時30分	帰敬式		御影堂
14時00分	常例布教〔昼座〕	P.43	総会所

合唱と弦楽器による仏教讃歌の調べ
をお楽しみください。

本年は新型コロナウイルスの感染予防対策として、事前に収録した演奏をインターネット配信にてお届けいたします。また、その映像を配信と同時刻に上映いたします。

※例年とは異なり、生演奏は行いません。

プログラム

みんな花になれ（愛唱歌）
 弥陀の名号となへつつ
 やさしさにであつたら 散華 他

〔出演〕

本願寺合唱団
(指揮:鈴木捺香子 ピアノ:井上なおみ)
月嶋アミ (ヴァイオリン)
松蔭ひかり (チェロ)
藤林由里 (ピアノ)

配信 ● 1月15日(土)16時～〈約60分〉

上映 ● 聞法会館 3 階多目的ホール
[開場 15時30分]
※予約不要・入場無料
(席数に限りがあります)

※新型コロナウイルス感染症の状況により、
上映を中止する場合があります。

 浄土真宗本願寺派総合研究所



配信はこちらから

御正忌報恩講 奉讃演奏会 2022



配信はこちらから

★つ や ふ きょう
通夜布教

とき ●1月15日(土)18時40分 ところ ●聞法会館〈2会場〉(1階・総会所および3階・多目的ホール)

親鸞聖人ご往生の前夜に門弟や縁の深い方々が集まり夜を明かしたことに始まると言われます。本年は座席数を制限し、時間を短縮して5名の本願寺派布教使が30分ずつ法話をいたします。

総会所（間法会館1階）				タイムテーブル	多目的ホール（間法会館3階）			
開会・勤行（讃仏偈）				18:40～18:55	開会・勤行（讃仏偈）			
花岡 静人	奈良教区	吉野東組	勝光寺	19:00～19:30	關 哲城	福井教区	大野組	専福寺
北條 一穂	和歌山教区	紀南組	妙道寺	19:30～20:00	栗原 一乗	備後教区	世羅組	浄楽寺
休 憩 〈換気〉				20:00～20:10	休 憩 〈換気〉			
利國 涼軟	兵庫教区	阪神東組	浄源寺	20:10～20:40	花岡 静人	奈良教区	吉野東組	勝光寺
關 哲城	福井教区	大野組	専福寺	20:40～21:10	北條 一穂	和歌山教区	紀南組	妙道寺
休 憩 〈換気〉				21:10～21:20	休 憩 〈換気〉			
栗原 一乗	備後教区	世羅組	浄楽寺	21:20～21:50	利國 涼軟	兵庫教区	阪神東組	浄源寺
閉会（22:00閉場予定）								

モニター中継およびインターネット中継を行います ※モニター中継会場 3階研修室

※しおりにつきましては、関連行事 内容変更・中止前のものとなっております

公開講座	伝道本部		間法会館		白洲特設テントエリア		お茶所			スタンプラリー		
	展示		販売		販売		展示	募金	販売			
11 第15回 本願寺史料研究所公開講座	10 第65回 全国児童生徒作品展	9 人権パネル展	8 第4回 間法会館写真コンクール	7 通夜布教書籍頒布	6 矯正展 「ヘキサピック展」 (2会場)	御正忌報恩講 法要期間中の 関連行事		5 被災地支援物産展	4 宗門社会活動展	3 子どもたちの笑顔のために募金	2 ほつとはあとシヨップ 「結ぶ絆から、広がるご縁へ」	1 「西本願寺ブランドツリーング」 「真宗十派本山報恩講法要巡り」
オンライン配信	13:15 表彰式 〈御影堂〉	テーマ「絆」・「ご縁」・「育む」		12:00 〜 16:00		9日 (日)	12:00 〜 16:00	12:00 〜 16:00	13:30 〜 15:30	9:30 〜 15:30	スタンプ設置場所…お茶所・龍虎殿	
		テーマ「全国水平社創立から100年を迎えて、今」		9:00 〜 16:00		10日 (月・祝)	9:30 〜 16:00	9:30 〜 16:00	9:30 〜 15:30			
						11日 (火)						
						12日 (水)						
						13日 (木)						
						14日 (金)						
				14:30 〜 22:00		15日 (土)						
						16日 (日)	9:30 〜 12:00	9:30 〜 12:00	9:30 〜 12:00	9:30 〜 11:30	9:30 〜 11:30	

15日のみ17:00~19:00
間法会館1Fロビー（和室前）で
パンの販売もします！

1/7 発売 西本願寺 小豆粥 <レトルト> 500円（税込）

親鸞聖人がお好きであったとされる小豆の
入った「小豆粥」がレトルトになりました！
ちょうどいい塩加減と生姜の風味で
身体の芯から温まります♪

販売中 西本願寺売店（伝道本部1F「法輪」・間法会館1F）
・大谷本廟ロビー売店



御正忌報恩講法要
参拝のお土産に
ピッタリ！

執行長カレーも
あるワン♪



親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年
慶讃法要記念 愛唱歌
〔原調：へ長調〕

みんな花になれ

作詞 山口 タオ
作曲 加藤登紀子

1.あなたがー わらうとー はなになるー
2.あなたがー ないたらー あめになるー

みているー わたしもー はなになるー
みているー わたしもー あめになるー

いいことー あるよー わらったらー
いいんだー いいんだー ないた一つてー

だれでもー はーなにー なれるんだー
あーめがー ふるからー はながさくー

そらをみあげるはなのように えがおいっばいさか そうよ
かぜによりそうはなのように やさしいえがおがさくんだよ

そらをみあげるはなのように えがおいっばいさか そう
かぜによりそうはなのように やさしいえがおが

よ さくんだよ

やさしいえがお さかそうよ

あなたが泣いたら 雨になる
見ている私も 雨になる
いいんだいいんだ 泣いたって
雨がふるから 花が咲く
風によりそう花のように
やさしい笑顔が咲くんだよ
風によりそう花のように
やさしい笑顔が咲くんだよ
やさしい笑顔が咲くんだよ

空を見上げる花のように
笑顔いっぱい咲かそうよ
空を見上げる花のように
笑顔いっぱい咲かそうよ
笑顔いっぱい咲かそうよ
笑顔いっぱい咲かそうよ

あなたが笑うと 花になる
見ている私も 花になる
いいことあるよ 笑ったら
誰でも花になれるんだ
空を見上げる花のように
笑顔いっぱい咲かそうよ
空を見上げる花のように
笑顔いっぱい咲かそうよ

浄土真宗本願寺派
公式YouTubeチャンネル



2021年4月15日
本願寺御影堂にて
歌唱：加藤登紀子さん

JASRAC 出 2110621-101

販売 2 ほっとはあとショップ 「結ぶ絆から、広がるご縁へ」

本年も「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）推進の一環として、障がいのある人たちが中心となって製作した「ほっとはあと製品」を販売するショップを出店いたします。お店には、おいしいパンやお菓子、生活雑貨等が日替わりで並びますので、皆さまのお越しをお待ちしております。



主催：特定非営利活動法人 京都ほっとはあとセンター
※障がいのある人たちの自立と社会参加を図ることを目的に、京都府・京都市・府内の授産施設や共同作業所が合同で設立した団体です。
後援：浄土真宗本願寺派 重点プロジェクト推進室

日時 法要期間中 9時30分～15時30分
※16日は11時30分まで
場所 お茶所内
※15日（土）のみ 17時～19時は 聞法会館 1階ロビー（和室前）でパン販売

重点プロジェクト推進室

募金 3 子どもたちの笑顔のために募金

宗派では「子どもたちの笑顔のために募金」を進めています。ご参拝の折にお寺などで集められた募金をブース（お茶所内）までお持ちください。ご持参の際には記念品をお渡しいたします。



日時 法要期間中 9時30分～15時30分
※9日は13時30分から、16日は11時30分まで
場所 お茶所内

重点プロジェクト推進室



キャッシュレス募金
専用ページは
こちらから

ほっとはあとショップ出店者

- 9日・工房ソラ（米粉のどら焼き、縫製品）
- ・なづな学園（焼き菓子、縫製品、編製品、陶器）
- 10日・デイジー（アクセサリー、生活雑貨）
- ・みくすはあつ（焼き菓子、生活雑貨）
- 11日・ネスト ラボ.キョウト（絵葉書、アクセサリー）
- 12日・工房あすく（着物生地ストラップ、革製品）
- ・サリュ（縫製品、アクセサリー）
- 13日・スキルアップスマイル（羊毛フェルト製品、縫製品）
- ・飛鳥井ワークセンター（パン）
- 14日・ブティパ（アクセサリー、生活雑貨）
- 15日・大江作業所（焼き菓子、手工芸品）
- ・飛鳥井ワークセンター（パン）
- 16日・テンダーハウス（燻製醤油、陶器、織物）

販売 5 被災地支援物産展

二〇一一年三月十一日、東日本大震災が発生し、二〇二〇年三月に十年目を迎えました。復興への歩みが進みつつある中、震災被害の風化が危惧されています。被災地では東京電力福島第一原子力発電所事故の影響などにより、全国に散らばる避難者はお約四万人にのぼり、未だに様々な困難を抱えています。

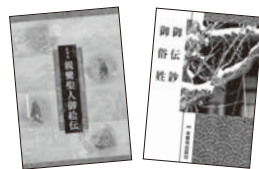


展示 第4回 聞法会館写真コンクール

今回は、「絆」・「ご縁」・「育む」をテーマにして作品を募集いたしました。全国の皆さまからご応募いただいたところ温まる作品を、ご鑑賞ください。

販売 7 通夜布教書籍頒布

本願寺出版社が発行している書籍・グッズの頒布をいたします。御正忌報恩講法要期間中、四千元以上お買い上げの方にはオリジナルエコバッグを進呈いたします（先着順）。是非お立ち寄りください。



日時 1月15日（土）14時30分～22時
場所 聞法会館 1階 特設ブース

本願寺出版社

本願寺ブックセンター（安福殿1階）
法要期間中
9時～17時
※16日は8時から

日時 法要期間中
場所 聞法会館 1階 総会所横廊下

聞法会館

展示 4 宗門社会活動展

社会部〈社会事業担当〉では、仏教と医療・福祉が連携する「ビハラー活動」をはじめ、矯正教化、更生保護事業など、様々な活動を推進しております。また、昨年度より、浄土真宗本願寺派全国児童養護施設連絡協議会（全養本派クラブ）協力のもと、「こども虐待防止」のシンボルマークである「オレンジリボン運動」の啓発に取り組んでおります。

広く社会に向けた活動をご紹介しますので、ぜひお立ち寄りください。



日時 法要期間中 9時30分～16時
※9日は12時から、16日は12時まで
場所 白洲特設テント

社会部〈社会事業担当〉

展示販売 6 矯正展〈キャピック展〉

宗門所属の教誨師・篤志面接委員（約三六〇名）が全国の刑務所や少年院等において教化伝道および、社会貢献の一環として宗教教誨や面接活動を実施しています。その被収容者の社会復帰に備え、施設職員の指導のもと、各施設内の工場等で刑務所作業用品（家具・靴・伝統工芸品など心をこめた逸品）の展示販売会をおこなっておりますので、ぜひお立ち寄りください。



主催：（公財）刑務作業協力事業部/
浄土真宗本願寺派矯正教化連盟
後援：京都刑務所
協賛：刑務作業協賛業者

日時 法要期間中 9時～16時
※9日は12時から、16日は12時まで
場所 白洲特設テントおよび
聞法会館1階 和室（2会場）

社会部〈社会事業担当〉

※しおりにつきましては、関連行事 内容変更・中止前のものとなっております

展示 9 人権パネル展

人権週間より御正忌報恩講までおよそ四十日間を縁として、宗派が推進する「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）の具体的な取り組みのひとつとして開催しております。

二〇二二年三月は、全国水平社が創立されて一〇〇年となります。日本最初の人権宣言といわれる「全国水平社創立宣言」が採択され、部落差別をはじめとするさまざまな差別の解消に向けて、これまで取り組みがなされてきました。

今回は、『全国水平社創立から一〇〇年を迎えて、今』をテーマに、水平社創立の経緯とともに、本願寺教団の部落差別への取り組みをパネルにしています。すべての人びとが自他ともに心豊かに生きることができるようにと、学びを深めましょう。



日時 人権週間（12月3日（金）～1月16日（日））
場所 聞法会館1階ロビー

社会部〈人権問題担当〉

展示 第65回 全国児童生徒作品展

本作品展は、「絵画の部」「書の部」「作文の部」の三部門からなり、全国の幼児、小・中学生から、毎年多くの作品を出品いただいております。応募作品の中から、「特選」（各部門各学年から1名）を選び、御正忌報恩講期間中に御影堂で表彰します。

なお本年は、去年と同様に、伝道本部一階東棟ロビーにて入賞作品を展示しております。全国の子どもたちから応募された力作を、ぜひご覧ください。



日時 法要期間中
[表彰式]
1月10日（月・祝）
13時15分（御影堂）
場所 伝道本部1階東棟ロビー

寺院活動支援部〈組織教化担当〉

※しおりにつきましては、関連行事 内容変更・中止前のものとなっております

スタンプラリー

1 『西本願寺グランドツリーリング』
(全国別院巡拝スタンプラリー)
『真宗十派本山報恩講法要巡り』

宗門では、全国にある別院や教堂の報恩講スタンプラリーを実施しています。また、真宗教団連合においても、真宗十派本山の報恩講法要巡り(スタンプラリー)を実施しています。お茶所・安穩殿・龍虎殿にてスタンプ帳を配布しておりますので、ぜひお立ち寄りください。



グランドツリーリング 真宗十派
重点プロジェクト 真宗教団連合
推進室 (所務部〈文書担当〉)

公開講座

11 第15回 本願寺史料研究所公開講座

親鸞聖人御誕生八五〇年 立教開宗八〇〇年に向けて、「親鸞聖人を知る・本願寺を知る」歴史講座を、法要期間限定でオンライン配信いたします。

- 【あいさつ】 赤松徹眞 (本願寺史料研究所所長)
【第一部】 近藤俊太郎 (本願寺史料研究所研究員 約四十分)
「恵信尼文書の発見と立教開宗七〇〇年記念法要——一〇〇年前の本願寺」
【第二部】 佐藤文子 (本願寺史料研究所研究員 約三十分)
「江戸時代の寺内と町奉行」

日時 法要期間中
オンライン配信
＜無料＞
所務部〈文書担当〉



視聴はこちら

親鸞聖人のご生涯 (御絵伝解説)

親鸞聖人のご生涯をまとめた絵物語を『御絵伝』といいます。

聖人のひ孫にあたる本願寺第三代覚如上人が、聖人の三十三回忌の翌年にそのご生涯を讃仰するために書かれた、『本願寺聖人親鸞伝絵』(絵巻物)を元にしています。

後にこの『親鸞伝絵』が、文章の部分『御伝記』と、絵の部分『御絵伝』に分けられ、江戸時代になってからは、一般のお寺でも、報恩講(聖人のご命日法要)の際には、『御絵伝』が奉懸され、『御伝鈔』が拝読され、広くご門徒に親しまれるようになりました。

『御絵伝』は、八幅や六幅で描かれているものもありますが、主にお寺で奉懸されるのは、四幅や二幅で描かれているものです。

この『御絵伝』(33〜40ページ)は、平成二十三年(二〇二一年)にお迎えした親鸞聖人七百五十回大遠忌法要を記念して、江戸時代の初めから四百年間、お寺や仏壇に奉懸する掛軸を手掛けてきた繪表所より寄進された、二幅の『御絵伝』を軸の表装から八面の額表装へ改装したもので、龍虎殿一階ロビーにて常時ご覧いただけます。

土曜法話でも解説します!

ほとけさまのお話

〈お西さんの土曜法話〉

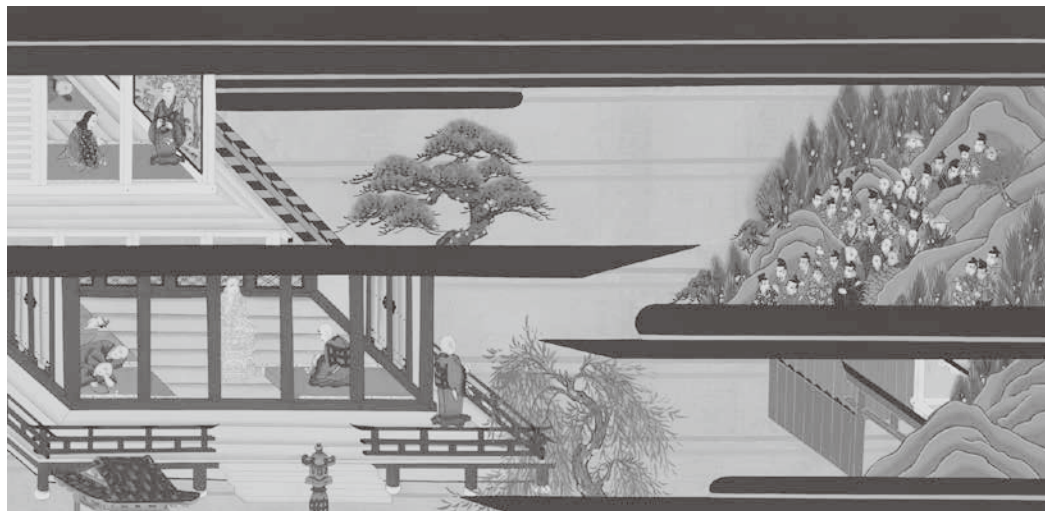
土曜日(17:00)/総会所

1月22・29日/30分2席 ※通常40分1席

お西さんの土曜法話
「お西さんの法要行事」チャンネルで
▶LIVE 配信



2022(令和4)年	講師	内容紹介
1月22日(土) 御絵伝解説①	〈第1幅〉 龍田智教 〈第2幅〉 中村啓誠	スクリーンに映写した「御絵伝」を2週連続して、場面ごとに解説いたします。
1月29日(土) 御絵伝解説②	〈第3幅〉 佐竹大智 〈第4幅〉 藤野和成	宗祖親鸞聖人のご生涯を紐解いてゆく中に、ご遺徳を偲ばせていただきます。



【出家学道】

(下段・上段左)

承安三年(一一七三年)、今の京都市伏見区日野にお生まれになった親鸞聖人は、治承五年(一一八一年)、御年九歳で、伯父の日野範綱卿に伴われ京都市東山区の慈円和尚(慈鎮和尚)の坊舎(白川房)で、僧侶となる儀式(お得度)を受け出家されました。

夜も近いから、明日来るようにと一旦断りましたが、聖人は「明日ありと 思う心の仇桜 夜半に嵐の吹かぬものは」と歌を詠まれ、その日の出家を許されます。この後聖人は、範宴と名乗られました。

各場面には、咲き誇るその桜、上段左には、白川房の慈円和尚が見守る中、紙燭で手元を照らしながら、剃髪する(髪を剃る)様子が描かれています。

【吉水入室】

(上段右)

建仁元年(一一〇一年)、二十九歳とられた聖人は、頂法寺(六角堂)の参籠を経て、源空聖人(法然聖人)のもとを訪ねます。聖人が白い衣と袈裟を着けて、源空聖人のもとを訪れている様子が描かれています。

【六角夢想】

(下段・上段右)

親鸞聖人は二十九歳の時比叡山を下りられ、京都市中京区の頂法寺(六角堂)に百日間の参籠をされます。

この絵は、その九十五日目の明け方に聖人が見られた夢の様子が描かれています。

この夢を見られた聖人は源空聖人(法然聖人)のもとを訪ねるご決意をされ、お弟子になられます。

聖人は、お堂の左端で横になっているお姿と、頂法寺のご本尊、救世観音に礼拝されているお姿、東(右)を見られているお姿で描かれています。

【蓮位夢想】

(上段左)

この場面は、親鸞聖人八十四歳の頃に話をうつし、建長八年(一二五六年)、蓮位という聖人のお弟子が見た夢の様子が描かれています。蓮位は上段左上、眠っている姿で描かれています。

その夢は、聖徳太子が聖人に向かって礼拝されていたという内容でした。このことによって、聖人が阿弥陀如来の化身であることが伝えられています。



選択付属

親鸞聖人が、源空聖人(法然聖人)から許されて、『選択本願念仏集』と源空聖人の絵像を授かっている場面です。聖人はその主著『顕浄土真実教行証文類』の後序で、

元久乙丑の歳(元久二年「一二〇五年」、恩恕(お許し)を蒙りて(受けて)『選択』(選択集)を書しき。

同じき年の初夏中旬第四日に、

「選択本願念仏集」の内題の字(書物の題名)、

ならびに「南無阿弥陀仏 往生之業 念仏為本」と

「釈綽空」の字と、空(源空聖人)法然聖人の真筆(直筆)をもつて、これを書かしたまひき(書いてくださった)。

同じき日、空(源空聖人)の真影(絵像)申し預かりて、図画したてまつる。

と思ひ起こされています。

信行両座 (下段)

ある時親鸞聖人が、「お浄土へ行くことは、ご信心で決まるか、念仏の行をばげむことで決まるか」お弟子たちに確認した

いと、源空聖人(法然聖人)に相談しました(下段右)。

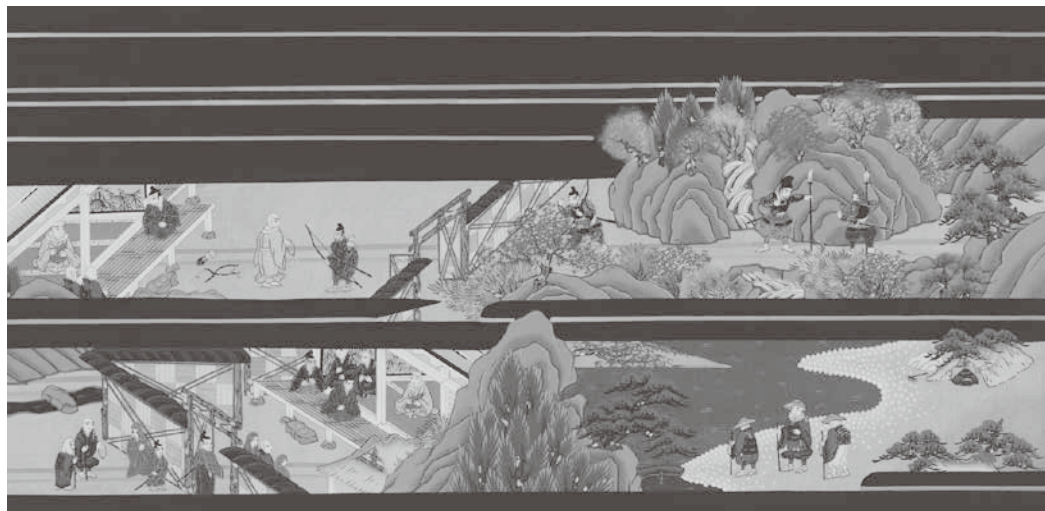
「ご信心でお浄土へ行くことが決まる」という場所には、はたして数人のお弟子と聖人、駆け付けた法力房(熊谷直実、最後に源空聖人が座りました(下段左)。

信心諍論 (上段右)

ある時親鸞聖人が、「源空聖人のご信心と、わたしのご信心は同じです」と話し、お弟子たちに厳しく咎められました。源空聖人は、「ご信心は、阿弥陀如来から賜るもの。同じだから同じお浄土へ行けます」と仰った様子が描かれています。

入西鑑察 (上段左)

時代は変わって、親鸞聖人七十歳の頃お弟子の入西が、聖人に絵姿をお願いするより先に、聖人がその気持ちを探して、「定禅という絵師に描いてもらいたい」と言われました(右)。定禅は、「夢の中で描いた生身の阿弥陀如来である僧侶こそ、親鸞聖人でした」と感動の涙を流しながらお姿を描かれました(左)。



念仏禁止 (下段右)

お念仏の教えが弘まるにつれ、それまでの仏教諸宗との摩擦が起こるようになり、仏教諸宗から朝廷へ、念仏停止の申し出が奏上されるようになります。笏を持った公卿が、門の前に奏上に訪れている様子が描かれています。

公卿僉議 (下段左)

念仏停止の申し出を受けて、御所の仁寿殿で行われた僉議の様子が描かれています。

そして承元元年(一二〇七年)念仏停止が決定し、住蓮・安楽など四人が死罪、八人の流罪が決定します。源空聖人(法然聖人)は土佐国(実際には讃岐国)、親鸞聖人は越後国国府へ還俗(僧侶の身分の剥奪)の上、流罪となりました。

師資遷謫 (上段)

承元元年旧暦三月、源空聖人が旅立たれるところ(上段左)と、親鸞聖人が旅立たれるところ(上段右)です。源空聖人七十五歳、聖人三十五歳、この日を最後にお二人はこの世で再会することはありませんでした。

稲田興法 (下段)

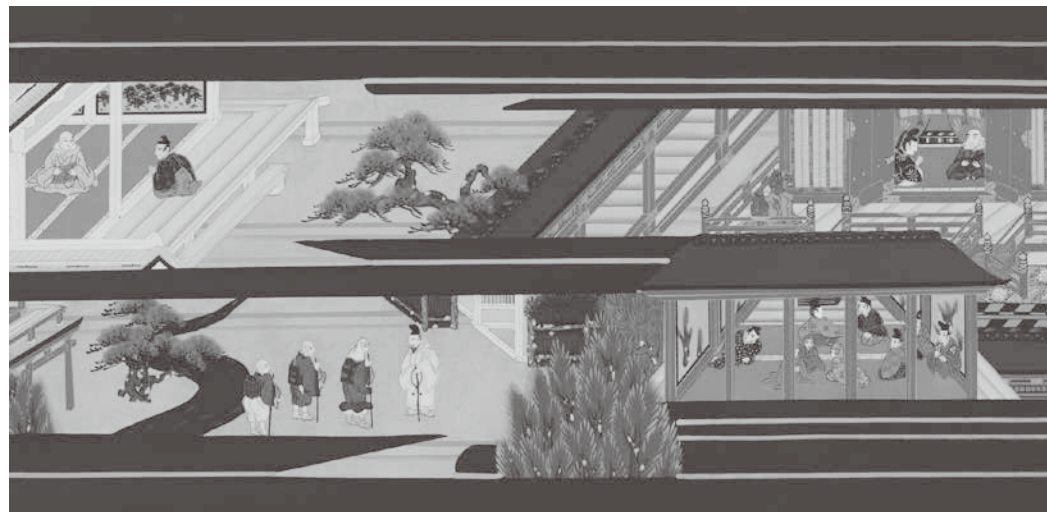
建暦元年(一二二一年)、親鸞聖人三十九歳の時、流罪の赦免がくだされ、源空聖人(法然聖人)は赦免の翌年、京都で往生されます。

聖人の元にもご往生の事は伝えられたと考えられますが、京都へは戻られずに関東へ向かわれ(下段右)、やがて今の茨城県笠間市稲田に草庵を結ばれ、多くの人が参拝するようになります(下段左)。

弁円済度 (上段)

聖人の草庵に多くの人が参拝する様子を快く思わない山伏たちがあらわれ(上段右)、その中の弁円という山伏が、ついに聖人の命を奪わんと草庵に押しかけます。

しかし、聖人の立ち振る舞いをみて、弓矢を折り、刀を捨てて弟子になりたいと申し出て、聖人から明法房という名を授けられました(上段左)。



箱根霊告

(下段左)

親鸞聖人が関東に住まわれてからおおよそ二十年、聖人は京都へ帰られます。その道中、一行が箱根を通りかかったところ、烏帽子を被り衣を整えた箱根神社の宮司が出てきて、「箱根権現(神)が今夢に出てきて、尊敬している方が通るのもてなしてほしいと願われたので出てまいりました」と、申し出てきます。一行と宮司が話をしているその様子が描かれています。

熊野霊告

(下段右・上段)

茨城県水戸市飯富(旧大部)に、お念仏を喜ぶ平太郎という者が住んでいました。その平太郎に大部の領主が、和歌山県の熊野神社に参拝するように命じます。

平太郎は、念仏を申す者が、神社に参拝してもいいものかと心配になり、京都の聖人の元を訪ねます(上段左)。聖人は、「阿弥陀如来の誓いに身を任せる者としてお参りすれば、神様を軽んじることはありません」と言われ、平太郎はお念仏しながら熊野神社に参拝します。その夜、眠る平太郎の夢に(下段右)、正装した熊野権現(神)と聖人が夢に出てきます(上段右)。

洛陽遷化

(下段・上段左)

親鸞聖人は、弘長二年(一二六二年)十一月の下旬体調を崩されます。それ以来、世俗のことは何も仰らずに、ただ阿弥陀如来のご恩と、お念仏が絶えることがなかったそうです(下段右)。そして十一月二十八日、今の暦では一二六三年一月十六日のお昼頃、お釈迦様がお亡くなりになった時と同じように、頭を北にして右脇を下に、西を向いて往生されました(下段中央)。御年九十歳でした。

廟堂創立

(上段右)

聖人がご往生されて十年後の文永九年(一二七二年)、京都東山の西側の麓、鳥部野の北、大谷にあった聖人のお墓を吉水の北、今の浄土宗知恩院の北あたりに改葬して、お堂を建てて親鸞聖人のありし日のお木像をご安置されました。このお堂が本願寺の起源で、このお木像こそ今の御影堂にご安置されている御真影さまだと伝わっています。

【御正忌報恩講法要期間中の帰敬式のご案内】

当日のお申し込みでも法名をいただくことができます

一、時間

一月九日(日)～十五日(土)

午前の部 午前六時から（朝のおつとめ）に引き続き
午後の部 午後一時

一月十六日(日)

午後の部 午後一時三十分（午前の部は行われません）

二、受付（式は御影堂にて行われます）

午前の部 前日または当日の開門後、龍虎殿（参拝教化部）にてお申し込みください。

※晨朝後、御影堂での受式希望も受付可能です。

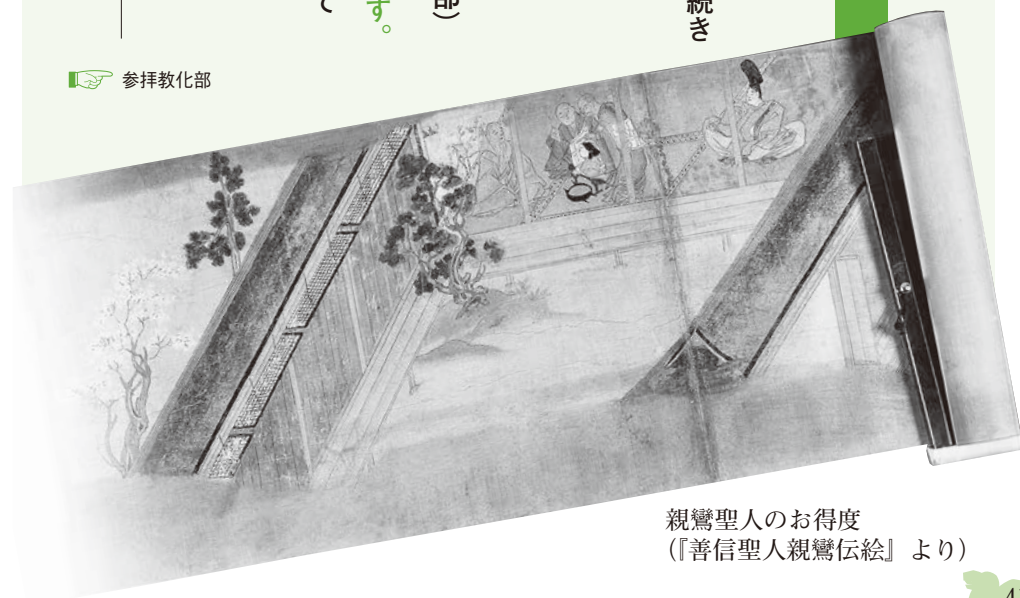
午後の部 受式一時間前までに龍虎殿（参拝教化部）にてお申し込みください。

三、冥加金

成人 一万円（未成年 五千元）

※一月八日(土)については、終日行われません。
※本人以外の受式は認められません。

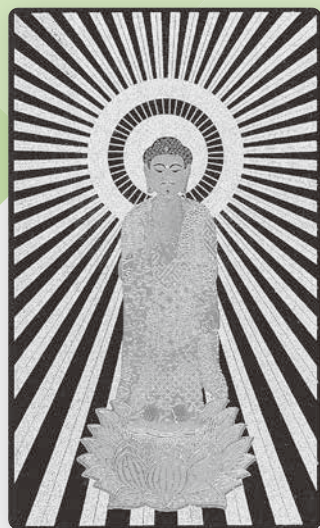
参拝教化部



親鸞聖人のお得度
（『善信聖人親鸞伝絵』より）

携行本尊けいこうほんぞん（絵像）

「独りじゃないよ、いつも一緒だよ」と、よびかけてくださる
阿弥陀さまをいつでもどんな時でも感じられるよう、
持ち運びしやすい名刺サイズの携行本尊の交付が
新たにはじまりました。
ご自身のために、遠く離れて暮らすご家族のために、
ぜひお求めください。
西本願寺（龍虎殿）または大谷本願寺、築地本願寺などで
直接お迎えいただけるほか、ホームページから
お申込みで送付することも可能です。



縦90mm×横55mm×厚み2mm
漆ブラック調パイオプラスチック

冥加金 10,000円

※荷造送料別途1,000円必要(4幅まで)
※1度に5幅以上送付の場合は荷造送料無料
(令和4年3月31日まで)

PR動画及び
申込みフォームは
こちら→



参拝教化部

携行本尊関連商品のご案内

※下記関連商品は【取扱い】先からお求めください。



- ・二つ折携行本尊入(4種)
- ・ホック付き携行本尊袋(3種)
- ・携行本尊ケース(茶・白)
- ・本尊スタンド(丸型・角型)他

【取扱い】
開明社(西本願寺売店)
TEL.075-341-4397



携行本尊専用
レーザーケース(3種)

【取扱い】
井筒法衣店
WEBカタログ
TEL.0120-075-720



携行本尊専用
フレーム&台座

【取扱い】
いのりオーケストラ
オンラインショップ
www.inori-orchestra.net



※しおりにつきましては、関連行事 内容変更・中止前のものとなっております

ほとけさまのお話 〈お西さんの法話〉

毎日(11:00)/御影堂 20分1席 ※配信なし

御影堂で毎日午前11時から
「お西さんの法話」が始まりました！

初めての方、少しでも聞いてみたい方にもオススメです。
御影堂内では隣の方と十分な間隔を空けてお座りください。



御影堂

講師はお西さん
ホームページで
ご確認ください



ほとけさまのお話 〈お西さんの土曜法話〉

土曜日(17:00)/総会所 40分1席 ▶LIVE 配信

※1月は22日、29日のみ。(P.31に掲載)

総会所で毎週土曜日午後5時から「お西さんの土曜法話」が始まりました！

2021年3月末日をもって常例布教・夜座は終了いたしました。平日お越しになれない方にも
ゆっくりお聴聞できると好評です。

教義 Q&A 〈法義示談〉 ※配信なし

15:00/総会所 約60分 ※1月は実施なし

難しい仏教用語や教えについて、教学の最高学階を有する勧学が、
どんな質問にもお答えします。

2月 3日(木) 林 智康師 3月 3日(木) 普賢 保之師

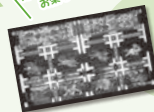


備え付けの質問状に質問を記入し、
質問箱にお入れください。

予約不要・参加無料

「お西のお坊さん」による境内案内
お西さんを知ろう！

何がおもしろいのかは
お楽しみ！



ご参加いただいた方には…

オニシ 024Card 全24冊

1枚をプレゼント！

本願寺の見どころを紹介する
オリジナルカードです。



1日4回 所要時間…約30分

集合場所：お茶所(総合案内所)

1回目 10:00～ 2回目 11:30～

3回目 13:45～ 4回目 15:30～

※[本法要期間中]も開催いたします。

本願寺の僧侶「お西のお坊さん」が、境内各所
を法話を交え、ご案内いたします。
どなたでも何度でもご参加いただけます。
参加希望の方は、左記開催時間までに
お茶所(総合案内所)にお越しください。

ほとけさまのお話 〈常例布教〉

じんじょう 今朝(朝のお勤め)(6:00～)後/御影堂 7分 ※配信なし

ひるざ 昼座(14:00)/総会所 30分2席 ▶LIVE 配信

1月

(日程の見方) 開始日(昼座から)～最終日(晨朝後まで)

2022(令和4)年	講 師	講 題
6日(木)～ 9日(日)	愛媛県 加藤泰朗 師	のせて、かならず、わたす。
9日(日)～12日(水) ※	大阪府 星野慎行 師	よきひとの仰せ
12日(水)～16日(日) ※★	奈良県 花岡静人 師	願い
16日(日)～19日(水)	愛知県 高梨顕浄 師	いのちの親さま
19日(水)～22日(土)	福岡県 大野弘信 師	お念仏の道を歩む
22日(土)～25日(火)	山口県 尾寺俊水 師	弥陀法のはたらき
25日(火)～28日(金)	熊本県 寺添真顕 師	尊きお導き
28日(金)～2月1日(火)	高知県 坂上晃順 師	今こそ、仏法にきく

※[本法要期間中]、9日～15日の昼座は休座とし、10日～15日は晨朝後ではなく
8:10～総会所にて20分1席の法話に変更となります。(P.15)

★15日 通夜布教 (P.24)

▶YouTubeによるお聴聞が可能になりました！

毎日の常例布教・昼座とお西さんの土曜法話をYouTubeにて

▶LIVE 配信しています。

また、過去の法話(アーカイブ*)も公開中です。

下記チャンネルから、いつでもどこでもお聴聞していただけます。



常例布教 昼座→
「お西さんの常例布教」
チャンネル



お西さんの土曜法話→
「お西さんの法要行事」
チャンネル



※(アーカイブ配信)は原則として後日6か月間公開予定(諸事情により公開されない場合もございます)。

お西さん(西本願寺)ホームページ

<https://www.hongwanji.kyoto>

本願寺のさまざまな情報を随時
発信しています。
ご参拝にお役立てください。



お西さん(西本願寺)公式Twitter

@nishi_hongwanji

法要行事のご案内など本願寺の
「今」をお伝えしています。
よろしければ、RT、フォローを
お願いいたします。



2022(令和4)年

本願寺の法要行事日程

元旦会・修正会	1月 1日(土・祝)
御正忌報恩講法要	1月 9日(日)～16日(日)
第70回本山成人式	3月 12日(土)
春季彼岸会	3月 18日(金)～24日(木)
御遷仏法要、御動座法要	4月 1日(金)
阿弥陀堂内陣修復完成奉告法要	4月 2日(土)
〈春の法要〉 阿弥陀堂内陣修復完成慶讃法要	4月 13日(水)～15日(金) 4月 13日(水)～14日(木)
立教開宗記念法要	4月 15日(金)
誕生会(日野誕生院宗祖降誕会)	5月 19日(木)
宗祖降誕会	5月 20日(金)～21日(土)
広如忌(角坊)	6月 1日(水)～ 2日(木)
大谷本廟納骨・永代経総追悼法要	6月 5日(日)～ 8日(水)
朝の法座(大谷本廟)	7月 20日(水)～22日(金)
盂蘭盆会	8月 14日(日)～15日(月)
戦没者追悼法要	8月 15日(月)
千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要 (東京・国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑)	9月 18日(日)
秋季彼岸会	9月 20日(火)～26日(月)
龍谷会(大谷本廟報恩講法要)	10月 15日(土)～16日(日)
〈秋の法要〉 全国門徒総追悼法要	11月 22日(火)～23日(水・祝)
御煤払	12月 20日(火)
除夜会	12月 31日(土)

毎月16日は Shinran's Day (親鸞聖人の日)

親鸞聖人御誕生850年 立教開宗800年 慶讃法要

Joint Celebration

850th Anniversary of Shinran Shonin's Birth & 800th Anniversary of the Establishment of the Jodo Shinshu Teaching



親鸞聖人 御誕生
850
立教開宗
800

2023(令和5)年

法要期日

第1期 3月 29日(水)～4月 3日(月)
第2期 4月 10日(月)～4月 15日(土)

第3期 4月 24日(月)～4月 29日(土)
第4期 5月 6日(土)～5月 11日(木)
第5期 5月 16日(火)～5月 21日(日)

領解文

もろもろの雑行雑修自力のころをふりす
てて、一心に阿弥陀如来我等が今度の一大事の
後生御たすけ候へとのみ申して候。たのむ
一念のとき往生一定御たすけ治定とぞんじ、
この上の称名は、御恩報謝とぞんじよろこび
申し候。この御ことわり聴聞申しわけ候事、
御開山聖人御出世の御恩、次第相承の善知識
のあさからざる御勸化の御恩と、ありがたく
ぞんじ候。
この上はさだめおかせらるる御おきて一期
をかぎり、まもり申すべく候。

報恩講の歌

作詞…日曜学校同人
作曲…野村成仁
黒瀬智圓

和歌の浦曲の 片男波の
寄かけよせかけ 帰る如く
我世に繁く 通い来り
み仏の慈悲 つたえなまし
一人居ても 喜びなば
二人と思え 二人にして
喜ぶおりは 三人なるぞ
その一人こそ 親鸞なれ

御正忌報恩講法要期間中の仏華

1月9日～12日午前



(御影堂)

1月12日午後～16日



(御影堂)



御影堂内陣



境内各所で配布しております。
ご自由にお持ち帰りください。

阿弥陀堂内一部閉鎖について



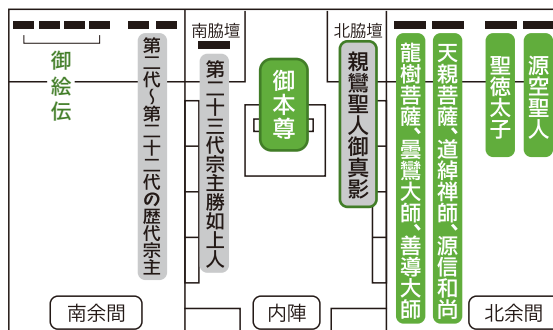
▲阿弥陀堂内図面

※[本法要期間中]はモニター中継指定席(椅子席)を80席設置いたします。
※1月24日から3月31日まで外陣を含む全域を閉鎖いたします。

閉鎖期間：2022年3月末まで

現在、左図の通り阿弥陀堂は堂内前方を閉鎖し、内陣の修復を行っております。
阿弥陀堂内、外陣部分へはお入りいただけます。
今回の修復では、天井画、金箔、鍔金具、漆塗などの修理を中心に行い、内陣の荘嚴の輝きを取り戻していきます。

御影堂の荘嚴について



▲御影堂荘嚴図

阿弥陀堂内陣修復に伴って、御本尊を阿弥陀堂から、御影堂内陣の中央へお移しし、親鸞聖人の御真影を内陣中央から北脇壇へお移しいたしました。それに伴い、御影堂の荘嚴を左図のように変更しております。

…阿弥陀堂よりご移動
…御影堂内でご移動

国宝修復情報 ～阿弥陀堂内陣・飛雲閣・唐門～

国宝の阿弥陀堂、飛雲閣、唐門の修復の様子をホームページでご覧いただけます。

詳細はこちらから→



▲阿弥陀堂金箔修理の様子



▲飛雲閣 2020年4月修復完了



▲唐門 2021年9月修復完了